

⑧ 土 木 費

08-01-01-455	土木管理経費
--------------	--------

※事業カルテ作成対象外事業のため事業カルテ及び診断書の作成は省略しています。事業の概要については事業別歳出決算額一覧表をご覧ください。

◇執行状況及び成果等

道路の適正管理や、迅速で適切な情報提供のため、地理情報管理システム導入を含めた道路台帳図面・調書及び道路管理基礎資料の電子化の必要性が高まってきていることから、平成27年度より道路管理資料の一元化（電子化）を図り、5か年計画による事業を実施したものである。平成27年度から令和元年度までの5か年事業とした契約をプロポーザル方式により業者選定し契約締結した。平成27年度から30年度は、各種道路基礎資料を整理するとともに、MMS（モバイルマッピングシステム）及び航空写真調査等を実施し、道路台帳の現況平面図及び道路区域線並びに道路台帳要素データの作成を行った。また、サーバ機器等を導入し、街路灯その他の各種道路施設のデータを地理情報管理システムに搭載した。令和元年度は道路占用許可や屋外広告物許可等のデータ搭載を行うとともに、最終年度としてこれまでの成果に基づき、全市道認定路線の一括廃止・一括認定に必要な図書作成を行い、併せて市内全域の新たな道路台帳図書を作成した。

事業費の内訳 (円)

名 称	27	28	29	30	元	
需 用 費	399,654	398,236	481,506	573,288	405,863	
役 務 費	1,422	1,422	24,296	15,546	15,546	
委 託 料	道路基礎資料電子化業務委託	27,946,938	37,213,878	31,652,886	23,133,769	17,568,303
	道路基礎資料収集業務委託（街路灯）	4,950,720	—	—	—	—
	道路基礎資料収集業務委託（街路樹）	9,972,288	—	—	—	—
使用料及び賃借料	472,500	472,500	371,745	230,688	232,824	
備品購入費	—	—	—	—	167,832	
負担金・補助及び交付金	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	
合 計	43,820,522	38,163,036	32,607,433	24,030,291	18,467,368	

08-02-01-458	道路橋りょう管理経費
--------------	-------------------

※事業カルテ作成対象外事業のため事業カルテ及び診断書の作成は省略しています。事業の概要については事業別歳出決算額一覧表をご覧ください。

◇執行状況及び成果等

道路の整備保全上必要である資材や燃料、光熱水費のほか、道路管理や設計等に必要なコンピュータシステムや機械設備の保守点検、道路施設に関する各種保険等、安全で快適な道路環境の整備を行い、道路機能を保持した。

事業費の内訳

(円)

名 称		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
需用費		3,942,181	7,527,252	4,162,752	2,722,252	3,102,837
役務費		948,943	1,060,886	1,083,461	505,371	495,492
委託料		6,316,272	6,134,832	6,134,832	6,178,896	6,197,948
内 訳	パーソナルコンピュータ 保守点検	88,128	88,128	88,128	132,192	95,256
	昇降機保守点検	1,989,360	1,989,360	1,989,360	1,989,360	2,007,780
	土木設計積算システム サポート業務	1,706,400	1,706,400	1,706,400	1,706,400	1,722,200
	道路施設支援システム サポート業務	181,440	—	—	—	—
	昇降機防犯監視業務	2,350,944	2,350,944	2,350,944	2,350,944	2,372,712
使用料及び賃借料		1,016,525	1,260,779	1,677,855	2,086,095	2,099,169
備品購入費		—	—	54,000	—	2,191,341
負担金・補助及び交付金		100,900	100,900	100,900	677,860	700,700
公課費		25,500	22,800	13,300	—	—
合 計		12,350,321	16,107,449	13,227,100	12,170,474	14,787,487

事業カルテ (元年度決算)

道路交通課

08-02-01-461

街路灯維持管理経費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・道路構造令・道路交通法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	3	安全で快適な移動空間の確保			
	関連する施策	E1-2	F1-2	—	—	—
関連する個別計画	多摩市街路樹よくなるプラン改定版 多摩しみどりと環境基本計画					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成9年度に策定した「街路灯電気料削減基本計画」に基づき、光効率の良いタイプの灯具に交換し、電気料や維持費の削減を図ってきた。また、平成19年度から照度アップ工事を実施し、平成25年度には、街路灯のLED化方針を決定し、街路灯のLED化を進めてきた。平成29年度には、ESCO事業で、一括LED化をして更なる省エネ・省コスト化を図っている。					

◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和元年度の目標	道路を通行する上で、交通安全及び防犯上の観点から、道路を安全・安心に利用できるよう夜間の道路環境の保全に努める。 平成30年度から取り組んでいる、ESCO事業対象外のナトリウム灯のLED化を、計画的に実施する。
予算の執行方法	街路灯の維持補修、改良工事の実施、及び街路灯電気料の支払を行った。
事業の成果	ESCO事業による街路灯LED化業務委託で、適正な照度による夜間の安全・安心な道路空間を確保した。また、電気料金や修繕費等のコスト縮減、CO2排出量を削減した。

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
決算額(単位:千円)	137,567 千円	139,437 千円	79,060 千円	131,366 千円	145,200 千円	
事業にかかる実コスト	148,832 千円	147,744 千円	87,042 千円	136,826 千円	150,779 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	6,000 千円	11,500 千円	0 千円	27,000 千円	31,000 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	131,567 千円	127,937 千円	79,060 千円	104,366 千円	114,200 千円
間接経費						
職員人件費	8,242 千円	7,495 千円	7,139 千円	5,460 千円	5,579 千円	
《従事人員数》	0.88 人	0.81 人	0.81 人	0.65 人	0.65 人	
その他の人件費	3,023 千円	812 千円	843 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	街路灯のLED化率	目標	9,704/10,778基 90%	9,889/10,787基 92%	10,067/10,800基 93%
		結果	9,736/10,787基 90%	9,930/10,800基 92%	—
成果指標 (アウトカム)	街路灯の維持管理(市民要望等による修理・改良件数)	目標	500件	500件	200件
		結果	75件	73件	—

特記事項

—

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し		方今 向後 性の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財一 源般		
A	B	C	イ	
				平成29年度からのESCO事業導入により、LED化率は大幅に向上するが、市民サービスの維持向上を図るため、事業者への指導を強化するとともに、ESCO事業終了後の街路灯環境のビジョン構築を図るための調査研究が必要である。

<街路灯維持管理経費>

◇ 執行状況及び成果等

街路灯の電気料、修繕料、改良工事を行った。

(円)

年度	街路灯の電気料		街路灯の修繕・改良工事		金額合計
	本数	金額	本数	金額	
27	10,930	99,396,268	3,797	38,170,692	137,566,960
28	10,961	66,330,988	3,143	73,105,709	139,436,697
29	10,778	65,063,386	1,183	13,996,675	79,060,061
30	10,787	35,862,182	143	35,371,757	71,233,939
元	10,800	43,975,712	185	36,931,576	80,907,288

多摩市街路灯・公園灯LED化事業業務委託

街路灯のLED化を図り、省エネルギー化を推進するため、平成29年度から11年間の契約で、街路灯の改修に係る設計、施工、維持保全等を包括委託するESCO事業を導入した。平成30年度からは、平成29年度に一括してLED化した街路灯の維持管理業務を開始した。

事業カルテ (元年度決算)

道路交通課

08-02-02-465

道路維持事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・道路構造令・道路交通法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	2	適正な公共施設等の維持・更新			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	-					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	道路の清掃業務、側溝及び集水桝浚渫業務、産業廃棄物処分業務、維持補修工事などを継続して行うことにより、道路の安全確保を行っている。					

◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和元年度の目標	道路の破損箇所の補修や、清掃等を適切且つ継続的に行うことで、車両や歩行者の円滑な通行と交通安全の確保及び道路環境の向上を図る。 道路のパトロールや、清掃等を継続的に行い、破損箇所や不良箇所の改善を速やかに実施し、車両及び歩行者の円滑な通行と交通安全の確保を持続させる。
予算の執行方法	道路の清掃業務委託、側溝及び集水桝浚渫業務委託、産業廃棄物処分業務委託、維持補修工事などを実施した。
事業の成果	道路施設の不良箇所を可及的速やかに改善し、歩行者・自転車・車両の安全かつ円滑な通行を確保した。

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
決算額(単位:千円)	133,781 千円	133,161 千円	147,368 千円	157,558 千円	175,304 千円	
事業にかかる実コスト	167,161 千円	158,349 千円	171,062 千円	181,174 千円	197,612 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	642 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	63 千円	66 千円	52 千円	48 千円	57 千円
	一般財源	133,718 千円	133,095 千円	147,316 千円	157,510 千円	174,605 千円
	間接経費					
職員人件費	24,351 千円	20,450 千円	19,477 千円	17,389 千円	14,418 千円	
《従事人員数》	2.60 人	2.21 人	2.21 人	2.07 人	1.68 人	
その他の人件費	9,029 千円	4,738 千円	4,217 千円	6,227 千円	7,890 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	道路等の破損補修件数	目標	184件	184件	200件
		結果	241件	227件	-
成果指標 (アウトカム)	道路の管理瑕疵による事故件数	目標	0件	0件	0件
		結果	1件	1件	-

特記事項

-

◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 般		
B	A	A	イ	道路施設の老朽化により多発している道路の破損箇所の補修や、清掃等を適切且つ継続的に行なうことで、車両や歩行者の円滑な通行と交通安全の確保及び道路環境の向上を図っていく。多摩ニュータウン整備から40年以上経過し、自転車歩行者専用道路の全体的な補修が必要となっている。

<道路維持事業>

◇ 執行状況及び成果等

■ 道路維持業務(除雪及び道路管理上集まった廃材の処理)

年度	件数	金額 (円)
27	1	665,597
28	2	390,341
29	1	5,301,929
30	0	0
元	0	0

■ 諸工事(道路破損等の補修、排水等の整備 他)

年度	件数	市内道路補修工事	
		件数	金額 (円)
27	61		90,210,480
28	76		85,046,337
29	55		95,219,542
30	77		113,524,208
元	56		115,630,129

■ 道路及び自転車歩行者専用道路清掃、放置自動車等撤去処分、側溝及び集水桝浚渫、原材料等 (円)

種別	年度	27	28	29	30	元
道路及び自転車歩行者専用道路清掃		31,581,192	34,552,463	34,752,469	34,550,647	43,575,661
放置自動車等撤去処分		0	0	0	0	0
側溝及び集水桝浚渫業務委託		5,549,813	7,498,814	8,699,037	7,095,423	10,441,102
産業廃棄物処分業務委託		1,939,680	2,759,940	1,941,678	1,324,026	4,033,928
道路調査業務委託		3,186,000	734,400	810,000	820,800	896,400
市道路敷地測量等業務委託		0	1,701,216	269,244	0	484,000
原材料費		621,647	456,418	344,020	237,545	229,043
その他(役務費)		26,384	21,038	30,094	5,508	14,190
合計		42,904,716	47,724,289	46,846,542	44,033,949	59,674,324

事業カルテ (元年度決算)

道路交通課

08-02-02-466

多摩センター共同溝維持管理経費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・共同溝の整備に関する特別措置法及び同法施行令			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	2	適正な公共施設等の維持・更新			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	-					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和63年10月、旧住宅都市整備公団より道路施設として引継ぎ、平成10年度に共同溝整備計画を変更し、電力及び通信の増設を行った。 また、平成15年度に長期修繕計画を策定して、計画的な維持管理を実施してきたが、計画策定から10年以上が経過したことから、平成28年度と令和元年度に長期修繕計画の見直しを行い、より効率的・効果的な維持管理を行っている。					

◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和元年度の目標	ライフラインの設置等に係る道路掘削を不要とし、道路構造を保全すると共に、安全確実なライフラインの確保を図るため整備された共同溝の適切な管理により機能を維持することで、良好な市民サービスの提供を図る。 共同溝の機能を維持するため、長期修繕計画に基づき、排水ポンプ盤及び警報盤の取替えを行う。
予算の執行方法	修繕料、保険料、設備機器保守、光熱水費、点検調査委託料、附帯設備等維持補修工事請負費を執行した。
事業の成果	長期修繕計画に基づく排水ポンプ盤、警報盤等の取替えを行い、共同溝の機能を維持向上させることにより、共同溝機能の安定化を図り、ライフラインの機能停止、喪失を防止した。

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
決算額(単位:千円)	20,436 千円	21,978 千円	44,802 千円	39,748 千円	34,563 千円	
事業にかかる実コスト	22,213 千円	27,067 千円	49,649 千円	44,284 千円	38,425 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	16,545 千円	15,934 千円	36,803 千円	32,656 千円	28,404 千円
	一般財源	3,891 千円	6,044 千円	7,999 千円	7,092 千円	6,159 千円
間接経費						
職員人件費	1,030 千円	5,089 千円	4,847 千円	4,536 千円	3,862 千円	
《従事人員数》	0.11 人	0.55 人	0.55 人	0.54 人	0.45 人	
その他の人件費	747 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	共同溝内巡視点検回数	目標	12回	12回	12回
		結果	12回	12回	-
成果指標 (アウトカム)	共同溝に関する維持管理経費であるため、 成果指標を設定することはなじまない	目標	-	-	-
		結果	-	-	-

特記事項

-

◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	ニ ー 量 的	財 一 源 般		
N	B	B	イ	共同溝本体の老朽化が進行していく事から、令和元年度に実施した点検調査結果を踏まえ見直した長期修繕計画に従って、計画的に設備更新を行いながら長寿命化を図っていく。

<多摩センター共同溝維持管理経費>

◇ 執行状況及び成果等

多摩センター共同溝の本体及び各種設備の円滑な管理等を行うために、保守の委託及び共同溝内の設備修繕を行った。

金額:(円)

年度 件名	27	28	29	30	元
共同溝付帯設備の修繕料	1件	1件	1件	1件	1件
	43,200	496,800	162,000	498,960	493,900
共同溝の電気料、電話料及び火災保険料	3件	3件	3件	3件	3件
	3,664,912	3,638,608	3,675,815	3,278,122	3,100,425
共同溝本体・設備保守点検委託料	1件	1件	1件	1件	1件
	6,983,344	5,472,360	5,751,000	6,912,000	7,541,220
共同溝調査・点検業務委託料	-	3件	2件	2件	2件
	-	918,000	918,000	858,600	12,491,600
共同溝排水ポンプ取替工事	1件	1件	1件	-	-
	8,299,800	6,426,000	6,679,800	-	-
共同溝付帯設備補修工事	3件	1件	3件	4件	2件
	1,444,824	5,026,320	27,615,168	28,199,880	10,936,000
合 計	20,436,080	21,978,088	44,801,783	39,747,562	34,563,145

事業カルテ (元年度決算)

道路交通課

08-02-02-467

街路樹等維持管理経費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・道路構造令・道路交通法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	3	安全で快適な移動空間の確保			
	関連する施策	F1-1	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市街路樹よくなるプラン改定版 多摩市みどりの基本計画 多摩市みどりのルネッサンス					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成20年度に街路樹維持管理方針となる多摩市街路樹よくなるプラン(街路編)を策定し、平成30年度に多摩市街路樹よくなるプラン改定版として見直しを行った。プランに基づき、平成24年度より沿道環境を整えるため間引きや剪定等を実施し、支障箇所の改善を図ってきた。また、平成26年度より枯れ枝などによる事故を防ぐために、枯れ木、枯れ枝などの撤去を進め、平成28年度から建築限界を確保するための下枝剪定を進めている。 なお、平成22年度から管理業務委託の契約方法を3年間の複数年契約としている。					

◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和元年度の目標	街路樹の適切な生育環境の確保と維持管理により、安全で快適に移動できる道路環境を維持し、向上させる。安全で快適な道路環境を保全するため、街路樹の剪定等、適切な維持管理を行う。 また、街路樹よくなるプラン改定版(平成30年度)に基づき、道路通行の安全や沿道住環境に支障を及ぼす街路樹の伐採、間伐や街路樹環境の更なる改善を目指した更新等を実施する。
予算の執行方法	街路樹等の剪定・草刈・除草・枯木及び枯枝の撤去を行うと共に、支障改善を目的とした間伐や試験的な更新等を委託業務により執行した。
事業の成果	信号機の視認障害、街路灯の照度障害などの交通支障を改善することや、緑量の適正化等を進めることにより、交通安全や防犯の向上を図った。また、沿道住居等への枝の越境、枯木、枯枝等の弊害を防ぐことや更新を含む試験的な取組みを進めることにより、安全・快適で健全な街路樹空間を構築した。

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
決算額(単位:千円)	143,093 千円	156,494 千円	170,627 千円	184,706 千円	215,606 千円	
事業にかかる実コスト	167,321 千円	177,170 千円	192,482 千円	206,095 千円	233,826 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	3,435 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	10,000 千円	9,000 千円	14,000 千円	8,000 千円	40 千円
	一般財源	133,093 千円	147,494 千円	156,627 千円	176,706 千円	212,131 千円
間接経費						
職員人件費	16,952 千円	14,990 千円	15,951 千円	11,425 千円	11,071 千円	
《従事人員数》	1.81 人	1.62 人	1.81 人	1.36 人	1.29 人	
その他の人件費	7,276 千円	5,686 千円	5,904 千円	9,964 千円	7,149 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	剪定本数、間伐本数	目標	771本(剪定) 133本(間伐)	837本(剪定) 120本(間伐)	837本(剪定) 120本(間伐)
		結果	771本(剪定) 295本(間伐)	837本(剪定) 386本(間伐)	-
成果指標 (アウトカム)	街路樹による支障改善件数	目標	道路環境の向上 (要改善箇所70件)	道路環境の向上 (要改善箇所63件)	道路環境の向上 (要改善箇所60件)
		結果	道路環境の向上 (要改善箇所84件)	道路環境の向上 (要改善箇所84件)	-

特記事項

-

◇自己点検

の 成 果 推 移 標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 的		
A	A	A	イ	老木化・大径化した街路樹が、安全で安心な通行や良好な居住環境の支障となるケースが増加してきている。街路樹の適正な育成管理を行っていくための管理費用は増加しつつあり、財源確保や経費の抑制も課題となっているため、継続的に育成管理できる街路樹環境への更新が必要である。

<街路樹等維持管理経費>

◇ 執行状況及び成果等

街路樹の維持管理及び剪定等の業務委託料

種別 年度	街路樹等維持管理		街路樹剪定等 (円)	街路樹環境 整備等 (円)	有償ボランティア 報償費 (円)	合 計 (円)
	高木剪定本数 面積(m ²) (※)	金額 (円)				
27	521	74,748,409	46,804,433	21,339,720	200,000	143,092,562
	408,280.4					
28	771	112,536,000	27,186,428	16,571,250	200,000	156,493,678
	420,650.4					
29	771	112,536,000	42,508,339	14,835,690	250,000	170,130,029
	420,650.4					
30	771	112,536,000	48,221,203	23,180,310	250,000	184,187,513
	420,650.4					
元	837	147,331,920	50,953,834	17,119,795	200,000	215,605,549
	451,509.4					

※ 草刈、除草、中低木剪定、藤棚手入れの作業総面積

事業カルテ (元年度決算)

道路交通課

08-02-03-468

道路整備事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・道路構造令			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	3	安全で快適な移動空間の確保			
	関連する施策	E2-2	—	—	—	—
関連する個別計画	多摩市道路整備計画 多摩市地域防災計画					
関連する報告書など	—					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成27年度に従前の「既存地区道路整備計画」を見直し、ニュータウン地区も含めた包括的な「多摩市道路整備計画」を策定している。この計画に基づき、平成29年度には重要整備路線の調査を行い、今後の街づくりとの整合を図った。					

◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和元年度の目標	市道の計画的な道路網等の整備により、市民生活の移動に関する快適性や安全性を向上させるとともに、円滑で快適な道路空間を創出させることを目的とする。 多摩市道路整備計画に基づき、市道2-1号幹線の用地買収事業、市道2-3号幹線拡幅事業や聖蹟桜ヶ丘北地区土地区画整理事業に伴う市道1-28号線の線形改良の検討を行う。東京都補助事業による市道幹線等の舗装打換工事、寄付による狭隘道路整備事業等を主要事業として実施する。 また、多摩センター地区の道路施設更新に向けての設計委託を実施する。
予算の執行方法	測量・調査等業務委託、工事請負費、用地買収費等として、適切に積算等を行い、契約した上で、財源として補助金等を獲得しながら事務執行を行った。
事業の成果	舗装の打換により、車両の通行に伴う振動や騒音が軽減され、沿道居住者等の快適性が向上する。また、拡幅整備用地の取得を進め、事業の進捗を図ることにより、歩行空間が確保され、通行者の安全性が向上した。

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
決算額(単位:千円)	280,104 千円	280,571 千円	225,546 千円	215,283 千円	201,965 千円	
事業にかかる実コスト	313,988 千円	306,291 千円	250,215 千円	237,737 千円	227,712 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	33,450 千円	12,100 千円	9,711 千円	8,000 千円	1,600 千円
	都支出金	98,647 千円	63,366 千円	21,987 千円	55,242 千円	98,100 千円
	地方債	0 千円	43,700 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	342 千円	0 千円
	一般財源	148,007 千円	161,405 千円	193,848 千円	151,699 千円	102,265 千円
間接経費						
職員人件費	29,033 千円	23,689 千円	22,561 千円	21,170 千円	25,747 千円	
《従事人員数》	3.10 人	2.56 人	2.56 人	2.52 人	3.00 人	
その他の人件費	4,851 千円	2,031 千円	2,108 千円	1,284 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	道路拡幅整備・道路改良・ユニバーサルデザイン関連工事の実施	目標	拡幅工事3路線 改良工事8路線	拡幅工事3路線 改良工事6路線	拡幅工事3路線 改良工事5路線
		結果	拡幅工事6路線 改良工事11路線	拡幅工事1線 改良工事8路線	—
成果指標 (アウトカム)	ユニバーサルデザインブロック設置路線 延長割合 ※	目標	45%	49%	52%
		結果	45%	49%	—

特記事項

※第五次多摩市総合計画第3期基本計画に合わせ、成果指標の見直しを行った。

◇自己点検

の 成 果 推 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	二 量 的	財 一 源 般		
B	B	A	I	道路整備計画に基づく重要整備路線の事業に着手するためには、沿道地権者の事業への理解と用地買収への協力が欠かせず交渉に時間を要する。一方で、現在進めている整備路線の用地取得を加速する必要がある。 交付金や都市計画税の充当など財源を確保しながら、着実に道路整備事業を進めていく。

<道路整備事業>

◇ 執行状況及び成果等

1 不動産鑑定料

道路拡幅用地について、不動産鑑定を行い用地買収単価の算定を行った。(3件)

計 915,660 円

委託件名	委託概要	委託費(円)
令和元年度不動産鑑定評価委託(その1)	市道2-1号幹線(中和田通り)拡幅用地取得に伴う買収地単価の算定	314,280
令和元年度不動産鑑定評価委託(その2)		314,280
令和元年度不動産価格算定契約	市道2-1号幹線(中和田通り)拡幅用地取得に伴う買収地単価の算定(意見書の作成)	287,100

2 測量設計業務委託

道路工事に先立ち測量や詳細設計業務を委託した。(5件)

計 6,723,200 円

委託件名	委託概要	委託費(円)
令和元年度市道2-1号幹線用地測量委託	市道2-1号幹線(中和田通り)拡幅用地取得に伴う測量	475,200
市道1-28号線概略設計委託	市道1-28号線拡幅整備に向けた線形検討	495,000
和田中学校擁壁検討業務委託	市道2-3号幹線(和田中学通り)拡幅整備に伴う擁壁検討	484,000
市道4-11号歩線・市道4-26号歩線測量基本設計業務委託	市道4-11号歩線・市道4-26号歩線整備工事に伴う測量および基本設計	4,950,000
市道2-1号幹線境界標設置委託	市道2-1号幹線(中和田通り)拡幅用地取得に伴う境界標設置	319,000

3 測量調査業務委託

道路整備計画に基づき、用地買収を行うにあたり物件補償算定の調査業務委託を行い、円滑な道路整備事業の促進を図った。(1件)

計 484,000 円

委託件名	委託概要	委託費(円)
市道2-1号幹線拡幅整備に伴う物件補償調査委託	市道2-1号幹線(中和田通り)拡幅用地取得に伴う物件補償調査	484,000

4 調査業務委託料

道路の設計、工事に先立ち調査等を行い、円滑な道路整備事業の促進を図った。(3件)

計 6,024,370 円

委託件名	委託概要	委託費(円)
舗装修繕計画策定及び路面性状調査・FWD調査委託(路面性状調査・FWD調査分)	舗装の健全度を測る路面性状調査(幹線・準幹線)舗装の支持力から補修断面を決めるFWD調査	3,168,000
令和元年度舗装打換工事に伴う図面作成委託	舗装補修工事に伴う図面作成	1,628,000
令和元年度交通量調査委託	舗装補修工事に伴う交通量調査	1,228,370

5 計画策定等業務委託料

円滑な道路維持管理業務が出来るよう道路調査を行い計画書を作成した(3件)

計 34,049,290 円

委託件名	委託概要	委託費(円)
平成31年度多摩市無電柱化推進計画策定委託	無電柱化推進路線の詳細検討	15,730,000
多摩センター地区歩行者専用道路計画策定委託	多摩センター地区自転車・歩行者専用道路の基本計画策定	16,269,000
舗装修繕計画策定及び路面性状調査・FWD調査委託 (舗装修繕計画策定分)	舗装修繕計画の立案	2,050,290

6 道路拡幅工事

市道2-1号幹線について用地買収後の管理用地の整備を行った。(1件)

計 2,970,000 円

工事件名	工事概要	工事費(円)
市道2-1号幹線整備工事	市道2-1号幹線(中和田通り)拡幅用地取得に伴う買収地の暫定整備	2,970,000

7 道路改良工事

市内の劣化した道路舗装打換工事や歩道拡幅、視覚障がい者誘導用プレートの設置を実施した。(9件)

計 118,553,960 円

工事件名	工事概要	工事費(円)
市道3-1号幹線舗装打換工事	舗装打換工事(延長258m 舗装面積1,655㎡)	21,839,760
市道1-4号幹線舗装打換工事	舗装打換工事(延長668m 舗装面積3,340㎡)	31,958,300
市道4-34号線舗装打換工事	舗装打換工事(延長196m 舗装面積1,080㎡)	14,520,000
市道1-264号線舗装打換工事	舗装打換工事(延長383m 舗装面積1,558㎡)	14,683,900
市道3-1号歩線外ベンチ設置工事	ベンチ設置 4箇所 ベンチ補修1箇所	1,188,000
市道5-87号線視覚障がい者誘導用プレート設置工事	多摩センター駅周辺における視覚障がい者誘導用プレートの設置(施工延長310m)	7,678,000
市道2-167号線舗装打換工事	舗装打換工事(延長502m 舗装面積2,563㎡)	24,420,000
市道3-1号幹線舗装工事	切削オーバーレイ工事 135㎡	1,276,000
多摩市落合1-41番地先外視覚障がい者用プレート設置工事	市道5-87号線 視覚障がい者用誘導プレート37枚 市道1-264号線 視覚障がい者用誘導プレート24枚	990,000

8 私道整備工事

「多摩市私道整備に関する要綱」に基づき私道の工事を実施した。(1件)

計 1,078,000 円

工事件名	工事概要	工事費(円)
令和元年度私道整備工事	私道整備要綱に基づく私道の舗装工事 (舗装面積168㎡)	1,078,000

9 道路用地買収

道路整備計画に基づき、地権者等との交渉により、道路拡幅用地を取得した。(1件)

計 30,364,390 円

件名	概要	費用(円)
市道2-1号幹線道路拡幅事業用地売買代金	市道2-1号幹線道路拡幅事業に伴う用地買収 (合計178.22㎡)	30,364,390

10 物件補償

道路整備計画に基づく道路拡幅用地の取得に伴い、当該用地に存する物件の補償費を支払った。(2件)

計 792,265 円

件名	概要	費用(円)
支障物件移設工事に伴う移設補償費 1	市道2-1号幹線(中和田通り)拡幅用地取得に伴う電柱移設	563,045
支障物件移設工事に伴う移設補償費 2	市道2-1号幹線(中和田通り)拡幅整備に伴う取得済み用地内の電柱移設	229,220

事業カルテ (元年度決算)

道路交通課

08-02-04-472 交通安全施設整備事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・道路構造令・道路交通法			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	2	適正な公共施設等の維持・更新			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市道路整備計画 多摩市交通マスタープラン					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	老朽化または破損した交通安全施設を更新すると共に、交通安全施設の整備を行っている。また、区画線の更新について、平成28年度に市内全域を調査して計画的に実施している。通学路の安全点検では、抽出された要対策箇所の対応を図り、令和元年度には関係者合同による園路点検を実施し、危険箇所の対策を講じた。平成26年度決算において、議会の事業評価で指摘を受けた、交通安全確保のための中央分離帯改良事業を平成28年度予算から新たに計上して実施している。					

◇令和元年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和元年度の目標	交通安全施設の整備や維持管理を継続し、円滑な道路交通と交通安全の確保を図る。特に、通学路上の課題箇所については、速やかな対応を行い、児童・生徒等の通行の安全を確保する。また、路面への自転車のピクトグラムの表示や中央分離帯の改良等を進め、交通安全の向上を図る。	
予算の執行方法	交通安全施設の消耗品の購入、交通安全施設設置工事の請負費を執行した。	
事業の成果	区画線やガードパイプ等の交通安全施設の整備・更新やグリーンベルト等の整備を行うことにより、通学路等の安全性の向上を図った。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
決算額(単位:千円)	10,182 千円	17,424 千円	18,264 千円	19,511 千円	43,847 千円
事業にかかる実コスト	21,872 千円	24,814 千円	24,798 千円	26,627 千円	52,057 千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	500 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	9,682 千円	17,424 千円	18,264 千円	19,511 千円
間接経費					
職員人件費	7,399 千円	5,089 千円	4,847 千円	5,040 千円	
《従事人員数》	0.79 人	0.55 人	0.55 人	0.60 人	
その他の人件費	4,291 千円	2,301 千円	1,687 千円	2,076 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	道路の安全施設の設置・修繕件数	目標	20件	20件	20件
		結果	19件	20件	-
成果指標 (アウトカム)	事業の性質から、成果指標を設定することはなじまない	目標	-	-	-
		結果	-	-	-

特記事項

-

◇自己点検

の 成 果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 的		
N	A	A	I	基準を満たさない横断抑止柵や防護柵の取替えやカーブミラーなどの老朽化した交通安全施設の更新などを計画的に実施する必要があり、更新に向けての調査や計画の策定を行う必要がある。

<交通安全施設整備事業>

◇ 執行状況及び成果等

良好な交通環境を確保するため区画線の敷設、道路反射鏡等の設置を行った。

種別 年度	交通安全施設設置工事		道路反射鏡設置工事		合 計 (円)
	件数	金 額(円)	件数	金 額(円)	
27	10	7,793,280	9	1,554,120	9,347,400
28	7	15,976,440	4	720,360	16,696,800
29	5	15,787,440	9	2,266,920	18,054,360
30	11	15,922,710	8	2,750,760	18,673,470
元	15	37,477,580	5	5,550,000	43,027,580

事業カルテ (元年度決算)

道路交通課

08-02-05-473 橋りょう維持管理経費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	道路法・道路交通法・道路構造令・道路橋示方書			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち				
	政策	E2	安心して快適に暮らし、移動できるまちづくり			
	施策	2	適正な公共施設等の維持・更新			
	関連する施策	E2-3	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市道路整備計画 多摩市橋梁長寿命化修繕計画 多摩市地域防災計画					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	既設橋梁の定期点検は、平成2年度より5年毎を基本に調査し、点検結果に応じ補修・補強が必要な橋梁の工事を実施していたが、平成24年度に「多摩市橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、予防保全型の管理手法に転換し橋梁の健全度向上を図っている。また、道路法改正により橋梁定期点検が法定化され、令和元年度からは改定された「道路橋点検要領」に基づき5年に一度実施している。					

◇令和元年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和元年度の目標	橋梁の異常・損傷を早期に見つけて必要な処置を講じ、橋梁を良好な状態に保全すると共に、耐震性の向上を図る。また、計画的な橋梁の維持更新を行うことにより、橋梁の長寿命化を図る。法定点検である、既設橋梁定期点検を実施し、橋梁の健全度を把握するとともに、耐震補強等工事、補修工事を実施して、橋梁の耐震性及び健全度の向上を図る。	
予算の執行方法	既設橋梁定期点検、耐震補強・補修設計業務委託、既設橋梁耐震補強・補修工事及び橋梁補修工事(単価契約)を実施した。	
事業の成果	計画的に耐震補強工事・補修工事を確実に実施することにより、橋梁の長寿命化を図り、耐震性・健全度を向上させた。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
決算額(単位:千円)	269,560 千円	275,357 千円	220,074 千円	277,420 千円	195,286 千円	
事業にかかる実コスト	282,348 千円	281,870 千円	226,313 千円	287,669 千円	203,697 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	26,950 千円	94,050 千円	53,900 千円	74,500 千円	26,380 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	45,150 千円	51,250 千円	10,925 千円
	地方債	117,500 千円	97,000 千円	0 千円	0 千円	62,200 千円
	その他特定財源	0 千円	13,831 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	125,110 千円	70,476 千円	121,024 千円	151,670 千円	95,781 千円
間接経費						
職員人件費	11,332 千円	6,107 千円	5,817 千円	10,249 千円	8,411 千円	
《従事人員数》	1.21 人	0.66 人	0.66 人	1.22 人	0.98 人	
その他の人件費	1,456 千円	406 千円	422 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	耐震補強・補修工事实施橋数	目標	5橋	3橋	3橋
		結果	5橋	2橋	-
成果指標 (アウトカム)	Ⅲランク橋梁の改善件数 ※	目標	-	6橋	10橋
		結果	-	13橋	-

特記事項

※定期点検で機能が良好に保全されていないと評価されているⅢ判定橋梁の改善件数を成果指標とすることにより、橋梁の健全度向上に向けての指標の明確化が可能となる。

◇自己点検

成果 の 推移 指標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 的		
B	A	A	イ	大規模橋梁や構造的に特殊な橋梁の耐震補強工事・補修工事を実施するに際しての基準やノウハウを取得するため、更なる情報収集及び調査研究が必要である。また、平成26年度の橋梁定期点検の法定化に伴い、策定した修繕計画を見直し、維持管理を行う必要がある。

<橋りょう維持管理経費>

◇ 執行状況及び成果等

既設橋梁の維持管理のため、補修工事や定期点検を行った。

年度	既設橋梁点検・補強補修設計		橋梁補強・補修工事		合 計 (円)
	内容	金額(円)	内容	金額(円)	
27	健全度調査(21橋) 補修等設計(14橋)	6,663,600 38,274,120	補強・補修工事(9橋) 橋梁補修工事	205,307,440 19,314,694	269,559,854
28	健全度調査(37橋) 補修等設計(7橋)	10,916,640 20,402,280	補強・補修工事(5橋) 橋梁補修工事	221,181,320 19,554,583	272,054,823
29	健全度調査(42橋) 補修等設計(1橋) 健全度調査(4橋)	12,011,490 35,286,840	補強・補修工事(5橋) 橋梁補修工事	152,823,240 19,803,204	219,924,774
30	健全度調査(31橋) 補修等設計(2橋)	10,067,490 19,980,000	補強・補修工事(5橋) 橋梁補修工事	227,179,080 19,874,813	277,101,383
元	健全度調査(29橋) 補修等設計(3橋)	10,885,600 23,938,200	補強・補修工事(2橋) 橋梁補修工事	140,310,500 19,938,565	195,072,865